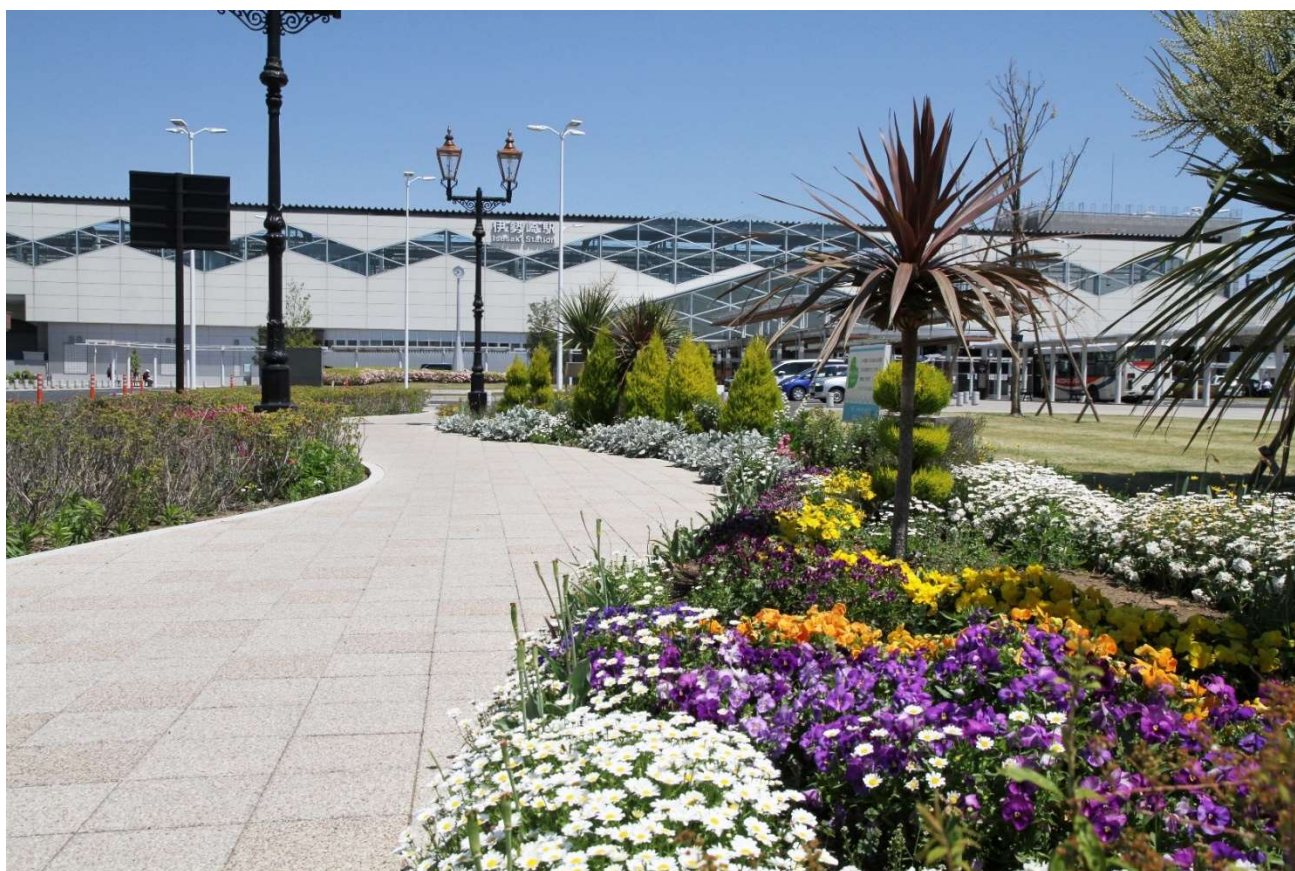


ぐんま“まちづくり”ビジョン 伊勢崎市アクションプログラム



令和4年3月更新

伊勢崎市

CONTENTS

1. ぐんま“まちづくり”ビジョン伊勢崎市アクションプログラム	1
2. 伊勢崎市における基本方針	1
3. 令和2年度までの重点プログラムの実施状況	2
4. 重点プログラムの達成状況と目標設定の考え方	4
5. 令和4年度以降の重点プログラムの実施	4

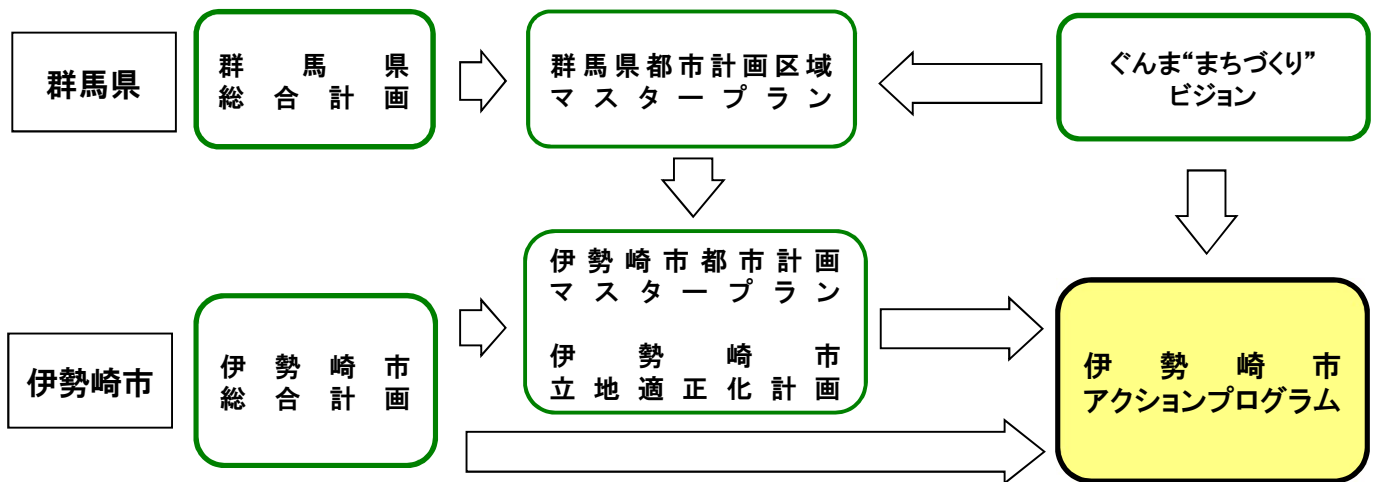
ぐんま“まちづくり”ビジョン伊勢崎市アクションプログラムの更新について

平成29年3月、伊勢崎市では、具体的なまちづくりの取組を着実に進めるための実行計画として、本アクションプログラムを策定しました。

本アクションプログラムでは、都市づくりの基本目標から、事業の確実性及び効果の大きさなどを考慮して、重点プロジェクトをまとめ、取り組んできました。この度、策定から5年が経過することから、従前の内容を継承しつつ、重点プロジェクト各事業及び成果指標を見直し、更新を行います。

1. ぐんま“まちづくり”ビジョン伊勢崎市アクションプログラムについて

人口減少・超高齢化社会への対応といった都市を取り巻く環境の変化を踏まえ、群馬県が作成した「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を受けて、平成29年3月に「伊勢崎市アクションプログラム」を策定しました。



2. 伊勢崎市における基本方針

都市づくりの基本目標を踏まえ、基本方針に基づく取組内容は「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の基本方針で示された施策の中から以下のものを選択します。

基本方針1 人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の構築

1-1 公共交通と連携した土地利用計画

1-5 交通結節機能の強化

1-2 都市機能の拡散防止

基本方針2 空き地・既存施設の利活用や優遇措置の導入による街なかへの転居の促進や集客施設の誘致

2-1 集客・交流機能の集積

2-5 良好な居住環境を増やす

2-2 拠点への都市機能集積

基本方針3 地域の誇れる個性・景観・くらしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり

3-3 地域資源の保全・活用

3-10 子育て・教育環境を充実させる

3-5 都市の魅力をつなげる

3-14 地域力を高める

3-8 居住人口の維持

3-17 歴史・文化を保全・活用する

3-9 雇用の場所を増やす

基本方針4 都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保

4-2 高速交通網へのアクセス性向上

4-4 移動の負担を軽減する

基本方針6 ぐんまの強みを活かした産業の誘致や新エネルギーによる産業創出環境づくり

6-2 企業や産業の誘致を図る

6-4 地域の強み・魅力を活かす

3. 令和2年度までの重点プロジェクトの実施状況

重点プロジェクト1 快適に生活できる基盤をつくる

成果指標	基準値 平成27年	目標値 令和3年	実績値 令和2年
市の人口	208,814人	209,913人	211,850人

目 的	実 施 所	基本方針	具 体 的 な 取 組 内 容	実施主体	取 組 状 況	担 当 課	実 施 状 況
適正な土地利用と良好な景観形成	市 内 域 全 域	①	立地適正化計画策定	市	策 定 了 運 用 続 続	都 市 計 画 課	まとまりのあるまちづくりを進めるため、ゆるやかに居住や生活に必要なサービス機能を誘導する目的で、立地適正化計画をH30.3策定、H30.7.1に公表した。今後は計画に基づき、持続可能な都市の実現を目指し、届出等による誘導施策を推進します。
	市 内 域 全 域	①	適正な土地利用の推進	県・市	継 続	都 市 計 画 課	無秩序な市街地形成の防止や良好な居住空間を保全するために、赤堀都市計画区域での用途地域の指定や、非線引き都市計画区域での特定用途制限地域の指定等を進めています。引き続き適正な土地利用の推進を図ります。
	市 内 域 全 域	③	景観まちづくりの推進	市	継 続	都 市 計 画 課	良好な景観形成の促進や景観形成の重要な構成要素である屋外広告物の適正化を推進するため、市民協働による景観まちづくりの推進や違反広告物の是正指導を実施している。
道路・公共交通ネットワークの確 立	市 内 域 全 域	①	コミュニティバス運行事業	市	継 続	交 通 政 策 課	平成30年4月1日からコミュニティバス有料化の実施。 令和3年2月1日に路線等の再編を実施し、鉄道駅への結節性を向上させるとともに、新規の1路線を追加した。 年間利用者数の推移 H29年度：356,512人、H30年度：302,558人、R1年度：294,758人、R2年度：201,047人 （総合計画目標値 令和6年度：350,000人）
	伊勢崎地区	①	シンボルロードの整備	市	継 続 実施箇所④	市 街 地 整 備 課	伊勢崎駅南口から本町通りを結び、本市の玄関口である伊勢崎駅へのアクセス道路であるシンボルロードについて、道路整備用地の確保のため、建物移転を実施し、事業の進捗を図ります。
	赤 堀 地区	④	市道（赤）112号線道路整備事業	市	継 続 実施箇所②	土 木 課	北関東自動車道の伊勢崎インターと国道50号のアクセス道路である本路線について、道路改良工事を実施し、事業の進捗を図ります。
	伊勢崎地区	④	都市計画道路3・3・3号 北部環状線道路改良事業	県・市	継 続 実施箇所③	都 市 計 画 課	H30から、県道前橋館林線から県道足利伊勢崎線までの区間で用地の確保を進め、道路改良工事を実施しています。引き続き、着手区間の整備の推進を図るとともに、未着手の区間の着手に向けて検討を進めます。
	赤 堀 地区	④	都市計画道路3・3・1号前橋笠懸道路整備事業	国	継 続 実施箇所①	高 崎 河 川 国 道 事 務 所	国道50号のバイパス道路整備として前橋市今井町からみどり市笠懸まで約12.5kmのうち市内約6.9kmの整備を行っており、引き続き伊勢崎市へ用地買収業務を委託し事業の推進を図っております。
	境地区	④	都市計画道路3・4・69号上矢島米岡線整備事業	県・市	継 続 実施箇所⑤	都 市 計 画 課	R11完成に向けて事業中。引き続き事業の推進を図っていきます。
	市 内 域 全 域	④	県道等交差点改良	県・市	完 了	土 木 課	計画されていた3交差点は全て完了。東町（R1完）、境上刈名（R1完）、大園神社東（H30完）
良好な居住環境の形成	市 内 域 全 域	②	空家等対策計画実施	市	第2次空家等対策計画として継続	環 境 保 全 課	空家等の適正な管理については、管理不全な所有者等に指導及び改善策の提案を行い、除却補助事業を実施し、利活用面では空き家情報バンク事業及び空き家改修補助事業を実施した。
	伊勢崎地区	③	土地区画整理事業	組 合・市	継 続	区 画 整 理 課 市 街 地 整 備 課	R2年度は、茂呂第二土地区画整理事業が換地処分となり、今後は清算事務を進めていく。また、他の市施行事業については、都市計画道路等公共施設の整備・改修に伴う建物移転や関係工事を実施し、良好な市街地形成を継続して行う。
	市 内 域 全 域	③	地域子育て支援拠点事業	市	継 続	子 ども 保 育 課	幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を6か所にて、継続して実施している。
	市 内 域 全 域	③	放課後児童健全育成事業	市	継 続	子 育 て 支 援 課	小学校に就学している児童であってその保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

重点プロジェクト2 活力ある産業とにぎわいのあるまちをつくる

成果指標	現状値 事業所数、従業員数 (平成26年度) 観光客入込数 (平成28年度)	目標値 令和3年度	実績値 事業所数、従業員数 (令和元年度) 観光客入込数 (令和2年度)
事業所数	183事業所	190事業所	197事業所
従業者数	26,589人	26,778人	28,623人
観光客入込数	360万人	390万人	109万人

目的	実施 箇所	基本 方針	具 体 的 な 取 組 内 容	実施 主体	取組状況	担 当 課	実 施 状 況
賑わいのある 中心市街地の 整備	伊勢崎 地区	②	パ テ ィ オ 広 場 整 備 活 用 事 業	市	整備完了 活用継続	都市開発課 市 街 地 整 備 課	整備：平成30年3月完成。 活用：伊勢崎の四季まちなかイルミネーションにおいて、毎年広場をライト アップし賑わいの創出を図っている。また、令和2年度には隣接する店舗主催 によるイベントが開催され、地域住民・来街者との交流が図られた。今後は、 伊勢崎の四季・まちなか賑わい創出事業で広場の活用を図る。
	伊勢崎 地区	②	伊勢崎の四季・まちなか 賑 わ い 創 出 事 業	市	継 続	都市開発課	伊勢崎駅前インフォメーションセンター、南口駅前広場及び大手町パティオに おいて、四季を通じたイベント等を開催し賑わいの創出を図っている。また、 インフォメーションセンターと駅自由通路に設置したデジタルサイネージを活用し、 市政や観光情報等の発信を図っている。
	伊勢崎 地区 境地区	②	中 心 商 店 街 に ぎ わ い 再 生 事 業	民間・ 市	継 続	商工労働課	中心市街地ににぎわいを取り戻し、商業の振興及び地域の活性化を図るため、 商店街等が実施するにぎわいを創出しようとする活動に対して、補助金による 支援を実施している。
企業誘致の推 進と雇用の促 進	市 内 全 域	③	企 業 誘 致 活 動 事 業	市	継 続	企業誘致課	市内企業の受注増加や就業人口の増加など、地域経済全体の活性化を目指し、 優良企業の誘致を進めており、伊勢崎市宮郷工業団地については売却した。
	市 内 全 域	⑥	新 規 産 業 団 地 造 成	県・ 市	継 続	企業誘致課	更なる優良企業の立地を促進し、市内企業の受注増加や雇用の拡大による産業 の活性化を図るため、伊勢崎南部工業団地周辺地区の事業化に向け、地権者会 の設立及び土壌調査等の委託を実施した。
魅力ある観光 の 推 進	境地区	③	旧 境 島 小 学 校 校 舎 利 活 用 の 検 討	市	完 了	教 育 部 総 務 課	平成29年3月、旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画に基づき、平成30 年9月8日旧境島小学校1階西側に田島弥平旧宅案内所を開所した。
	境地区	③	史 跡 田 島 弥 平 旧 宅 の 世 界 遺 産 活 用 事 業	市	継 続	文 化 財 保 護 課	史跡田島弥平旧宅整備基本計画に基づき、各種建造物などの保全や補修を計画的に 実施し、史跡の整備を進め、公開範囲の拡充に努めている。令和2年度に、 別荘及び冷蔵庫庫の整備工事が完了した。今後は、東門・桑場等の修復整備を 実施予定である。
	境地区	③	境 赤 し ゅ ん が 倉 庫 施 設 整 備 活 用 事 業	市	整備完了 活用継続	文化観光課	平成29年11月に施設整備が完了し、イベントホールやギャラリー機能を備 えた市民の交流や地域活性化のための施設として、平成30年4月から貸館を行 っている。
	市 内 全 域	③	両毛地域東武鉄道沿線 活 性 化 構 想	民間・ 市	継 続	企画調整課	両毛地域及び東武鉄道と協調・連携を図り、MaaS及びコロナ禍における新し い生活様式施策について研修を実施した。
	境地区	③	上 武 大 橋 架 替 え 事 業	県	継 続 実 施 箇 所 ⑥	群馬県	R4完成に向けて事業中。引き続き事業の推進を図っていきます。
活力ある商工 業 の 振 興	市 内 全 域	③	Made in いせさき事業	市	継 続	企業誘致課	市内の企業などが連携して伊勢崎ブランドである「Made in いせさき」の商 品開発と販路拡大を行うため、ブランド研究会で総会を実施し、大型商業施設 での展示会を開催し、事業の推進を図っている。
	伊勢崎 地区	③	織 物 振 興 事 業	民間・ 市	継 続	商工労働課	伊勢崎織物協同組合が実施する織物産業の振興事業について、補助金による支 援を実施している。
	市 内 全 域	⑥	い せ さ き 産 農 産 物 ブ ラ ン ド 化 推 進 事 業	市	継 続	農 政 課	地元農産物振興の拡大を目的とし、現在15品目の農産物をブランド化し事業 の推進を図っている。引き続き、ブランド化の推進と流通の拡大を図っていく。

4. 重点プロジェクトの達成状況と目標設定の考え方

重点プロジェクト1

成果指標である市の人口については、令和2年の国勢調査の結果、目標値を達成できた。更新計画では、市の第2次総合計画の目標値を採用します。

14の事業のうち、2事業については完了し、他の事業についても事業の進捗が図られており、今後も継続して取り組みを行うことで、効果を期待できると考えます。

重点プロジェクト2

成果指標である市内事業所数及び従業者数においては、目標値を上回っているが、観光客入込数においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、目標値を大幅に下回る結果となった。更新計画では、観光業はコロナ感染状況による影響によるところが大きく、新たな目標設定が困難であることから、総合計画で設定された目標値を採用し、目標値の達成を目指す事業を推進します。

5. 令和4年度以降の重点プロジェクトの実施

前回の重点プロジェクト実施状況や近年の社会情勢の変化を踏まえた上で、第2次伊勢崎市総合計画に即した内容に重点プロジェクト及び成果指標を更新します。

更新にあたり、伊勢崎市の5つの基本方針及び整備方針は従前のものを継承し、実施期間は令和4年度から令和8年度までとします。

※更新に伴う新規事業、成果指標の変更、事業名の変更等は、赤字にて表示しています。

「まちの将来像」の実現に向けた都市づくりの基本目標から、事業の確実性及び効果の大きさなどを考慮して、第2次伊勢崎市総合計画の基本計画に位置付けている施策を重点プロジェクトとして抽出し、市の政策、県の政策及び民間の政策を組み合わせ、着実に実施するパッケージとしてまとめました。

重点プロジェクト1 快適に生活できる基盤をつくる

良好な都市基盤の整備を進めるとともに、市民が潤いを実感できる自然や歴史的な風景による伊勢崎らしい都市景観を形成し、快適さを実感して暮らせるまちの基盤となる施策パッケージです。

目 的

適正な土地利用と良好な景観形成

良好な居住環境の形成

道路・公共交通ネットワークの確立

重点プロジェクト2 活力ある産業とにぎわいのあるまちをつくる

産業基盤を強化し、地域のブランド力を高め、地域経済がさらに発展し、人々が行き交うにぎやかなまちをつくる施策パッケージです。

目 的

にぎわいのある中心市街地の整備

企業誘致の推進と雇用の促進

活力ある商工業の振興

魅力ある観光の振興

重点プロジェクト1 快適に生活できる基盤をつくる

成果指標	現状値 (令和2年)	目標値 (令和7年)
市の人口	211,850人	209,680人

目的	実施所	基本方針	具体的な取組内容	実施主体	取組状況	工程表					担当課
						R4	R5	R6	R7	R8	
適正な土地利用と良好な景観形成	市全域	①	立地適正化計画の運用	市	継続						都市計画課
	市全域	①	適正な土地利用の推進	県・市	継続						都市計画課
	赤堀・東地区	①	用途地域、特定用途制限地域の指定・見直し	市	新規	※1			※2		都市計画課
	市全域	③	景観まちづくりの推進	市	継続						都市計画課
道路・公共交通ネットワークの確立	市全域	①	コミュニティバス運行事業	市	継続						交通政策課
	伊勢崎地区	①	シンボルロードの整備	市	継続 実施箇所④						市街地整備課
	赤堀地区	④	市道（赤）112号線道路整備事業	市	継続 実施箇所②						土木課
	伊勢崎地区	④	県道桐生伊勢崎線（（都）北部環状線）バイパス整備	県	継続 実施箇所③-1			検討			伊勢崎土木事務所
	伊勢崎地区	④	都市計画道路3・3・3号北部環状線整備事業	市	継続 実施箇所③-2						都市計画課
	赤堀地区	④	都市計画道路3・3・1号前橋笠懸道路整備事業	国	継続 実施箇所①						高崎河川国道事務所
	境地区	④	都市計画道路3・4・69号上矢島米岡線整備事業	県・市	継続 実施箇所⑤						都市計画課
	市全域	④	県道等交差点改良	県	継続 実施箇所⑨			検討			伊勢崎土木事務所
	伊勢崎地区	④	県道苗ヶ島飯土井線（波志江SICアクセス）道路新設	県	継続 実施箇所⑦						伊勢崎土木事務所
良好な居住環境の形成	伊勢崎地区	②	一般河川男井戸川 河川改修	県	継続 実施箇所⑩						伊勢崎土木事務所
	東地区	②	県道境木島大間々線（東小保方町区）歩道整備	県	新規 実施箇所⑧						伊勢崎土木事務所
	市全域	②	第2次空家等対策計画の実施	市	第1次計画からの継続						環境保全課
	伊勢崎地区	③	土地区画整理事業	組合・市	継続						区画整理課 市街地整備課
	市全域	③	地域子育て支援拠点事業	市	継続						子ども保育課
	市全域	③	放課後児童健全育成事業	市	継続						子育て支援課

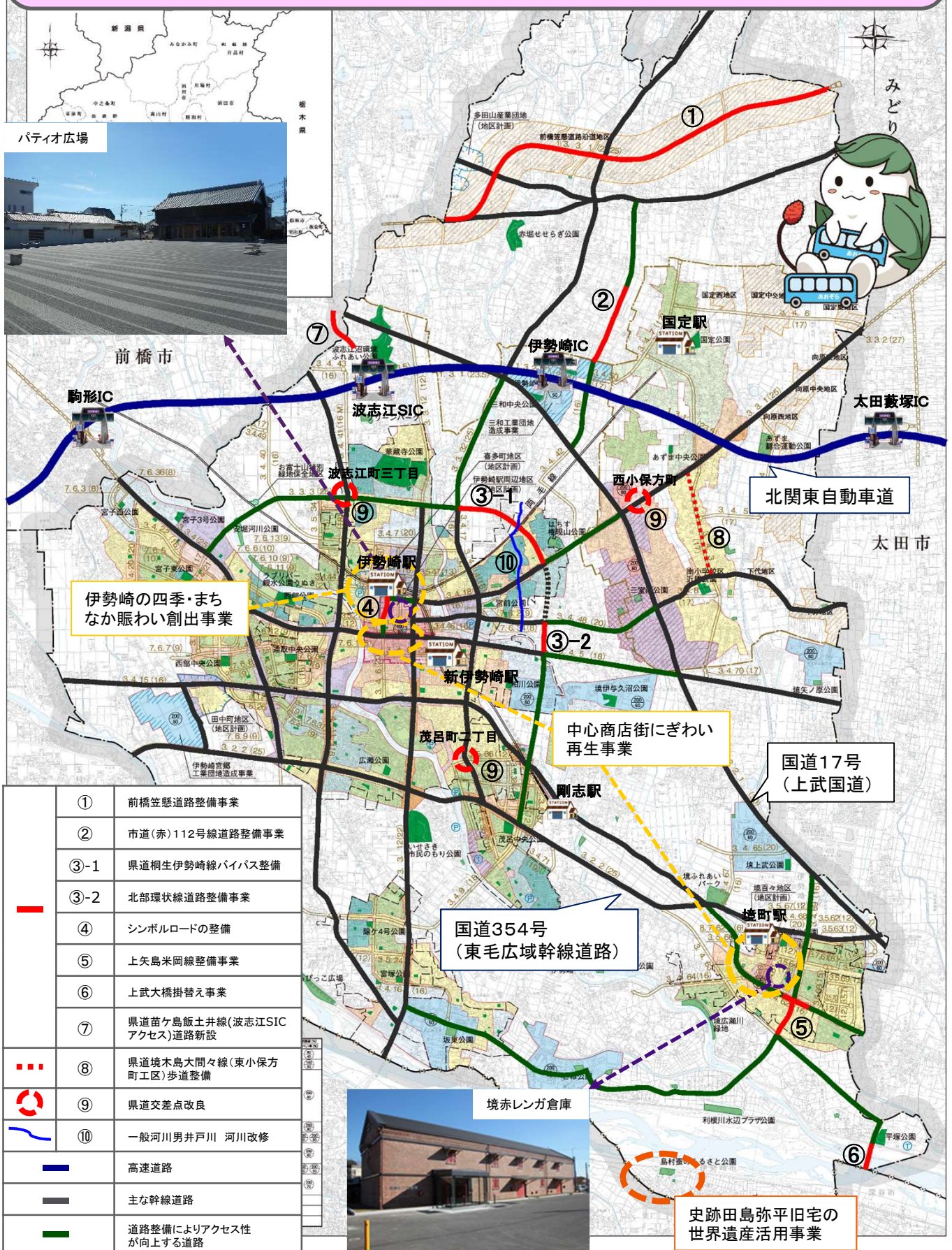
※1…策定 ※2…運用

重点プロジェクト2 活力ある産業とにぎわいのあるまちをつくる

成果指標	現状値 事業所数、従業員数(令和元年度) 観光客入込数(令和2年度)	目標値 (令和6年度)
事業所数	197事業所	189事業所
従業者数	28,623人	28,000人
観光客入込数	109万人	390万人

目的	実施箇所	基本方針	具体的な取組内容	実施主体	取組状況	工程表					担当課
						R4	R5	R6	R7	R8	
賑わいのある中心市街地の整備	伊勢崎地区	②	パテイオ広場活用事業	市	継続						都市開発課 市街地整備課
	伊勢崎地区	②	伊勢崎の四季・まちなか賑わい創出事業	市	継続						都市開発課
	伊勢崎境地区	②	中心商店街にぎわい再生事業	民間・市	継続						商工労働課
企業誘致の推進と雇用の促進	市内全域	③	企業誘致活動事業	市	継続						企業誘致課
	市内全域	⑥	新規産業団地造成	県・市	継続						企業誘致課
魅力ある観光の推進	境地区	③	史跡田島弥平旧宅の世界遺産活用事業	市	継続						文化財保護課 企画調整課
	境地区	③	境赤レンガ倉庫施設活用事業	市	継続						文化観光課
	市内全域	③	両毛地域東武鉄道沿線活性化構想	民間・市	継続						企画調整課
	境地区	③	上武大橋架替え事業	県	継続 実施箇所⑥						群馬県
活力ある商工業の振興	市内全域	③	Made in いせさき事業	市	継続						企業誘致課
	伊勢崎地区	③	織物振興事業	民間・市	継続						商工労働課
	市内全域	⑥	いせさき産農産物ブランド化推進事業	市	継続						農政課

重点プロジェクト1及び2における 具体的な取り組みの事業実施箇所





伊勢崎市

